

平成16年9月期 個別中間財務諸表の概要

平成16年5月20日

上場会社名 株式会社 長大
コード番号 9624

上場取引所 東京証券取引所市場第二部
本社所在地都道府県 東京都

(URL <http://www.chodai.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 友澤武昭

問合せ先責任者 役職名 常務取締役管理本部長

氏名 田村 哲

TEL (03) 3639-3301

決算取締役会開催日 平成16年5月20日

中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日 -

単元株制度採用の有無 有 (1単元500株)

1. 16年3月中間期の業績 (平成15年10月1日～平成16年3月31日)

(1) 経営成績

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|----------|--------|-----|------|------|------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 16年3月中間期 | 6,916 | 9.0 | 69 | 69.7 | 57 | 61.3 |
| 15年3月中間期 | 7,603 | 6.1 | 230 | 73.6 | 149 | 15.6 |
| 15年9月期 | 15,097 | | 373 | | 285 | |

| | 中間(当期)純利益 | | 1株当たり中間 (当期)純利益 |
|----------|-----------|--------|--------------------|
| | 百万円 | % | 円 銭 |
| 16年3月中間期 | 4 | 79.9 | 0.53 |
| 15年3月中間期 | 24 | 2240.2 | 2.61 |
| 15年9月期 | 23 | | 2.48 |

(注) 期中平均株式数 16年3月中間期 9,410,513株 15年3月中間期 9,412,147株 15年9月期 9,411,660株
会計処理の方法の変更 無
売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 配当状況

| | 1株当たり 中間配当金 | 1株当たり 年間配当金 |
|----------|----------------|----------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 16年3月中間期 | 0.00 | - |
| 15年3月中間期 | 0.00 | - |
| 15年9月期 | - | 6.00 |

(注) 16年3月中間期配当金の内訳

記念配当 0円00銭
特別配当 0円00銭

(3) 財政状態

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|----------|--------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 16年3月中間期 | 18,498 | 9,786 | 52.9 | 1,040.06 |
| 15年3月中間期 | 18,761 | 9,710 | 51.8 | 1,031.65 |
| 15年9月期 | 15,721 | 9,747 | 62.0 | 1,035.79 |

(注) 期末発行済株式数 16年3月中間期 9,409,840株 15年3月中間期 9,411,400株 15年9月期 9,410,680株
期末自己株式数 16年3月中間期 6,160株 15年3月中間期 4,600株 15年9月期 5,320株

2. 16年9月期の業績予想 (平成15年10月1日～平成16年9月30日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり年間配当金 | |
|-----|--------|------|-------|------------|------|
| | | | | 期 末 | 期 末 |
| 通 期 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 | 円 銭 |
| | 15,000 | 330 | 120 | 6.00 | 6.00 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 12円 75銭

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

中間財務諸表等

1. 中間貸借対照表

(単位:百万円)

| 期 別 科 目 | 前中間会計期間末 (平成15年3月31日現在) | | 当中間会計期間末 (平成16年3月31日現在) | | 前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年9月30日現在) | |
|------------|----------------------------|-------|----------------------------|-------|-------------------------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| (資産の部) | | % | | % | | % |
| 流動資産 | | | | | | |
| 現金及び預金 | 3,892 | | 4,108 | | 5,122 | |
| 受取手形 | - | | 0 | | 0 | |
| 完成業務未収入金 | 5,080 | | 4,394 | | 1,419 | |
| 未成業務支出金 | 3,445 | | 3,387 | | 2,571 | |
| 繰延税金資産 | 16 | | 40 | | 118 | |
| その他 | 126 | | 251 | | 182 | |
| 流動資産合計 | 12,561 | 67.0 | 12,185 | 65.9 | 9,415 | 59.9 |
| 固定資産 | | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | | |
| 建物 | 1,282 | | 1,204 | | 1,241 | |
| 土地 | 1,937 | | 1,937 | | 1,937 | |
| その他 | 100 | | 91 | | 97 | |
| 有形固定資産合計 | 3,320 | 17.7 | 3,233 | 17.5 | 3,276 | 20.8 |
| 無形固定資産 | 132 | 0.7 | 116 | 0.6 | 120 | 0.8 |
| 投資その他の資産 | | | | | | |
| 投資有価証券 | 630 | | 899 | | 814 | |
| 繰延税金資産 | 490 | | 513 | | 509 | |
| その他 | 1,695 | | 1,621 | | 1,654 | |
| 貸倒引当金 | 69 | | 71 | | 69 | |
| 投資その他の資産合計 | 2,746 | 14.6 | 2,963 | 16.0 | 2,908 | 18.5 |
| 固定資産合計 | 6,199 | 33.0 | 6,313 | 34.1 | 6,305 | 40.1 |
| 資産合計 | 18,761 | 100.0 | 18,498 | 100.0 | 15,721 | 100.0 |

(単位:百万円)

| 期 別 科 目 | 前中間会計期間末 (平成15年3月31日現在) | | 当中間会計期間末 (平成16年3月31日現在) | | 前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年9月30日現在) | |
|--------------|----------------------------|-------|----------------------------|-------|-------------------------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| (負債の部) | | % | | % | | % |
| 流動負債 | | | | | | |
| 業務未払金 | 2,071 | | 1,699 | | 924 | |
| 短期借入金 | 2,450 | | 2,450 | | 500 | |
| 未払法人税等 | 165 | | 44 | | 303 | |
| 未成業務受入金 | 1,929 | | 2,203 | | 1,910 | |
| その他 | 931 | | 815 | | 804 | |
| 流動負債合計 | 7,548 | 40.2 | 7,213 | 39.0 | 4,442 | 28.3 |
| 固定負債 | | | | | | |
| 退職給付引当金 | 1,503 | | 1,496 | | 1,531 | |
| その他 | - | | 1 | | - | |
| 固定負債合計 | 1,503 | 8.0 | 1,498 | 8.1 | 1,531 | 9.7 |
| 負債合計 | 9,051 | 48.2 | 8,712 | 47.1 | 5,974 | 38.0 |
| (資本の部) | | | | | | |
| 資本金 | 3,107 | 16.6 | 3,107 | 16.8 | 3,107 | 19.8 |
| 資本剰余金 | | | | | | |
| 資本準備金 | 4,864 | 25.9 | 4,864 | 26.3 | 4,864 | 30.9 |
| 資本剰余金合計 | 4,864 | 25.9 | 4,864 | 26.3 | 4,864 | 30.9 |
| 利益剰余金 | | | | | | |
| 利益準備金 | 251 | | 251 | | 251 | |
| 任意積立金 | 1,130 | | 1,130 | | 1,130 | |
| 中間(当期)未処分利益 | 418 | | 318 | | 370 | |
| 利益剰余金合計 | 1,799 | 9.6 | 1,699 | 9.2 | 1,751 | 11.1 |
| その他有価証券評価差額金 | 59 | 0.3 | 117 | 0.6 | 25 | 0.2 |
| 自己株式 | 1 | 0.0 | 2 | 0.0 | 1 | 0.0 |
| 資本合計 | 9,710 | 51.8 | 9,786 | 52.9 | 9,747 | 62.0 |
| 負債資本合計 | 18,761 | 100.0 | 18,498 | 100.0 | 15,721 | 100.0 |

2. 中間損益計算書

(単位:百万円)

| 期 別 科 目 | 前中間会計期間 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日〕 | | 当中間会計期間 〔自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日〕 | | 前事業年度の 要約損益計算書 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年9月30日〕 | |
|-----------------|---|-------|---|-------|---|-------|
| | 金 額 | 百分比 | 金 額 | 百分比 | 金 額 | 百分比 |
| 売上高 | 7,603 | 100.0 | 6,916 | 100.0 | 15,097 | 100.0 |
| 売上原価 | 5,448 | 71.7 | 5,054 | 73.1 | 11,149 | 73.8 |
| 売上総利益 | 2,154 | 28.3 | 1,862 | 26.9 | 3,947 | 26.2 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,924 | 25.3 | 1,792 | 25.9 | 3,574 | 23.7 |
| 営業利益 | 230 | 3.0 | 69 | 1.0 | 373 | 2.5 |
| 営業外収益 | | | | | | |
| 受取利息 | 0 | | 0 | | 1 | |
| その他 | 13 | | 18 | | 32 | |
| 営業外収益合計 | 14 | 0.2 | 19 | 0.2 | 34 | 0.2 |
| 営業外費用 | | | | | | |
| 支払利息 | 12 | | 12 | | 19 | |
| その他 | 82 | | 18 | | 103 | |
| 営業外費用合計 | 95 | 1.2 | 31 | 0.4 | 122 | 0.8 |
| 経常利益 | 149 | 2.0 | 57 | 0.8 | 285 | 1.9 |
| 特別損失 | 38 | 0.5 | - | - | 208 | 1.4 |
| 税引前中間(当期)純利益 | 110 | 1.5 | 57 | 0.8 | 76 | 0.5 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 168 | 2.2 | 43 | 0.6 | 362 | 2.4 |
| 法人税等調整額 | 82 | 1.0 | 9 | 0.1 | 262 | 1.7 |
| 中間純利益又は当期純損失() | 24 | 0.3 | 4 | 0.1 | 23 | 0.2 |
| 前期繰越利益 | 393 | | 313 | | 393 | |
| 中間(当期)未処分利益 | 418 | | 318 | | 370 | |

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

| 期 別 項 目 | 前中間会計期間 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日〕 | 当中間会計期間 〔自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日〕 | 前事業年度 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年9月30日〕 |
|------------------|---|---|--|
| 1. 資産の評価基準及び評価方法 | <p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの 中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>(2) たな卸資産 未成業務支出金 個別法による原価法</p> | <p>(1) 有価証券 同 左</p> <p>(2) たな卸資産 同 左</p> | <p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>(2) たな卸資産 同 左</p> |
| 2. 固定資産の減価償却の方法 | <p>(1) 有形固定資産 定率法 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物(付属設備を除く) 38～50年 器具及び備品 5～15年</p> <p>(2) 無形固定資産 ソフトウェア 社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法 その他 定額法</p> <p>(3) 長期前払費用 定額法</p> | <p>(1) 有形固定資産 同 左</p> <p>(2) 無形固定資産 同 左</p> <p>(3) 長期前払費用 同 左</p> | <p>(1) 有形固定資産 同 左</p> <p>(2) 無形固定資産 同 左</p> <p>(3) 長期前払費用 同 左</p> |
| 3. 引当金の計上基準 | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同 左</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同 左</p> |

| 期 別 項 目 | 前中間会計期間 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日〕 | 当中間会計期間 〔自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日〕 | 前事業年度 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年9月30日〕 |
|------------------------------------|---|---|--|
| | <p>(2) 退職給付引当金</p> <p>従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>なお、会計基準変更時差異(1,591百万円)については、15年による按分額を費用処理しております。</p> <p>また、過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。</p> | <p>(2) 退職給付引当金</p> <p>同 左</p> | <p>(2) 退職給付引当金</p> <p>従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>なお、会計基準変更時差異(1,591百万円)については、15年による按分額を費用処理しております。</p> <p>また、過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。</p> |
| 4. リース取引の処理方法 | <p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> | 同 左 | 同 左 |
| 5. 中間キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 | <p>手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。</p> | | |
| 6. その他中間財務諸表(財務諸表)作成のための基本となる重要な事項 | <p>消費税等の会計処理方法 税抜方式によっております。</p> | <p>消費税等の会計処理方法 同 左</p> | <p>(1) 消費税等の会計処理方法 同 左</p> |

| 期 別 項 目 | 前中間会計期間 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日〕 | 当中間会計期間 〔自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日〕 | 前事業年度 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年9月30日〕 |
|------------|---|---|--|
| | | | <p>(2) 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準 「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)が平成14年4月1日以後に適用されることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準によっております。これによる当事業年度の損益に与える影響は軽微であります。</p> <p>なお、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表の資本の部分については、改正後の財務諸表等規則により作成しております。</p> <p>(3) 1株当たり情報 「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)が平成14年4月1日以後開始する事業年度に係る財務諸表から適用されることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準及び適用指針によっております。</p> |

追加情報

| <p>前中間会計期間 〔自 平成14年10月1日〕 〔至 平成15年3月31日〕</p> | <p>当中間会計期間 〔自 平成15年10月1日〕 〔至 平成16年3月31日〕</p> | <p>前事業年度 〔自 平成14年10月1日〕 〔至 平成15年9月30日〕</p> |
|---|--|--|
| <p>(自己株式及び法定準備金取崩会計) 当中間会計期間から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)を適用しております。これによる当中間会計期間の損益に与える影響は軽微であります。 なお、中間財務諸表等規則の改正により、当中間会計期間における中間貸借対照表の資本の部については、改正後の中間財務諸表等規則により作成しております。</p> | | |
| <p>(1株当たり情報) 当中間会計期間から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。なお、これによる影響はありません。</p> | | |
| <p>(法定実効税率の変更) 地方税法等の一部を改正する法律(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布されたことに伴い、当中間会計期間の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算(ただし、平成16年10月1日以降解消が見込まれるものに限る。)に使用した法定実効税率は、前事業年度の42%から41%に変更されております。その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が7百万円減少し、当中間会計期間に計上された法人税等調整額が6百万円増加しております。</p> | | <p>(法定実行税率の変更) 地方税法等の一部を改正する法律(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布されたことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算(ただし、平成16年10月1日以降解消が見込まれるものに限る。)に使用した法定実効税率は、前事業年度の42%から41%に変更されました。その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が7百万円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が7百万円、その他有価証券評価差額金が0百万円、それぞれ増加しております。</p> |

注記事項等

(中間貸借対照表関係)

| 期 別 項 目 | 前中間会計期間末 (平成15年3月31日現在) | 当中間会計期間末 (平成16年3月31日現在) | 前事業年度末 (平成15年9月30日現在) |
|-------------------|---|---|---|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 1,098百万円 | 1,187百万円 | 1,145百万円 |
| 2. 偶発債務 | 従業員の銀行提携融資制度による金融機関からの借入金に対する保証 109百万円 | 従業員の銀行提携融資制度による金融機関からの借入金に対する保証 108百万円 | 従業員の銀行提携融資制度による金融機関からの借入金に対する保証 112百万円 |
| 3. 消費税等に係る表示 | 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺の上金額の重要性が乏しいため流動負債の「その他」に含めて表示しております。 | 同 左 | |

(中間損益計算書関係)

| 期 別 項 目 | 前中間会計期間 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日〕 | 当中間会計期間 〔自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日〕 | 前事業年度 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年9月30日〕 |
|---------------|---|---|---|
| 1. 営業外費用の主な内容 | 有価証券売却損 50百万円 | | |
| 2. 特別損失の内容 | 投資有価証券評価損 38百万円 | | 転進援助制度特別退職金 208百万円 |
| 3. 減価償却実施額 | | | |
| 有形固定資産 | 51百万円 | 46百万円 | 103百万円 |
| 無形固定資産 | 22 | 23 | 46 |

(リース取引関係)

| 期 別 項 目 | 前中間会計期間 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日〕 | 当中間会計期間 〔自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日〕 | 前事業年度 〔自 平成14年10月1日 至 平成15年9月30日〕 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---------------------------|------------------|--------------------------------------|---------|---------------|-----|-----|-----|
| | 取得額 減価償却 累計額 相当額 | 中間期末 残高 相当額 | 取得額 減価償却 累計額 相当額 | 中間期末 残高 相当額 | 取得額 減価償却 累計額 相当額 | 期末残高 相当額 | | | | | | |
| リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額 | | | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額 | | | 1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 | | | | | |
| | 有形固定資産 その他 | 350 | 214 | 135 | 有形固定資産 その他 | 242 | 163 | 78 | 有形固定資産 その他 | 322 | 221 | 100 |
| | 合計 | 350 | 214 | 135 | 合計 | 242 | 163 | 78 | 合計 | 322 | 221 | 100 |
| | 2. 未経過リース料中間期末残高相当額 | | | 2. 未経過リース料中間期末残高相当額 | | | 2. 未経過リース料期末残高相当額 | | | | | |
| | 1年内 | | 70 | 百万円 | 1年内 | | 46 | 百万円 | 1年内 | | 58 | 百万円 |
| | 1年超 | | 68 | | 1年超 | | 33 | | 1年超 | | 45 | |
| | 合計 | | 138 | | 合計 | | 80 | | 合計 | | 103 | |
| | 3. 当中間期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 | | | 3. 当中間期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 | | | 3. 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 | | | | | |
| | 支払リース料 | | 43 | 百万円 | 支払リース料 | | 33 | 百万円 | 支払リース料 | | 83 | 百万円 |
| | 減価償却費相当額 | | 41 | | 減価償却費相当額 | | 32 | | 減価償却費相当額 | | 79 | |
| 支払利息相当額 | | 1 | | 支払利息相当額 | | 1 | | 支払利息相当額 | | 3 | | |
| 4. 減価償却費相当額の算定方法 | | | 4. 減価償却費相当額の算定方法 | | | 4. 減価償却費相当額の算定方法 | | | | | | |
| リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。 | | | 同 左 | | | 同 左 | | | | | | |
| 5. 利息相当額の算定方法 | | | 5. 利息相当額の算定方法 | | | 5. 利息相当額の算定方法 | | | | | | |
| リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。 | | | 同 左 | | | 同 左 | | | | | | |

(有価証券関係)

前中間会計期間末 (平成 15 年 3 月 31 日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位 : 百万円)

| | 前中間会計期間末 (平成15年3月31日現在) | | |
|-----|-------------------------|------------|-----|
| | 取 得 原 価 | 中間貸借対照表計上額 | 差 額 |
| 株式 | 23 | 23 | 0 |
| その他 | 617 | 507 | 109 |
| 合計 | 640 | 530 | 110 |

(注) 当中間会計期間において、その他有価証券で時価のある株式について 38 百万円減損処理を行っております。なお、時価が取得価格の 30%以上下落した場合に著しい下落と判断し、減損処理の要否を検討しております。

2. 時価のない有価証券の主な内容

(単位 : 百万円)

| | 前中間会計期間末 (平成15年3月31日現在) | |
|------------------------------|-------------------------|--|
| | 中間貸借対照表計上額 | |
| 子会社株式 | 17 | |
| その他有価証券 非上場株式 (店頭売買株式を除く) | 100 | |

当中間会計期間末 (平成 16 年 3 月 31 日現在)

当中間会計期間より、当社は連結中間決算をしているため、中間決算短信(連結)に記載しております。なお、子会社株式で時価のあるものはありません。

前事業年度末 (平成 15 年 9 月 30 日現在)

前事業年度より、当社は連結決算をしているため、中間決算短信(連結)に記載しております。なお、子会社株式で時価のあるものはありません。